

事業所職員向け

令和5年度 放課後等デイサービス 自己評価結果

回答数 13名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13			パーテーションを使用するなど、活動スペースを分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	12	1		人員基準よりも多く職員を配置し療育を行っている。専門職員を配置している。
	3	療育施設は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	1		療育室はフラットな作りになっている。障害者用トイレやエレベーターの設置をしている。清掃、片付け、換気等をしている。
	4	療育施設は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13			屋外に園庭や遊歩道、畑があり、自然と触れ合える空間が多い。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	4		十分でないところもあるので改善できるよう検討する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13			今後も改善できるよう検討する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	1		ホームページで公開し、月1回発行の通信で保護者に知らせている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	9		今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13			毎月の事業所内研修の他、外部研修への参加も積極的に促している。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス支援計画を作成しているか	13			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、発達特性シートを使用しているか	9	4		使用している。個別ファイルで保管している。
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか	12	1		毎月会議を設定し、対象児童に関する情報や課題、支援目標を共有している。
	13	療育計画の立案をチームで行っているか	13			職員でミーティングを重ね、立案している。
	14	療育計画が固定化しないよう工夫しているか	9	4		季節の行事を意識した療育内容を計画している。過去の資料を参考にし、内容が固定化しないよう工夫している。
	15	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	13			休日や長期休暇では、普段できない行事や活動を取り入れている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで個別支援計画を作成しているか	11	2		会議を開催し、支援内容を検討している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1		療育前にその日の活動内容を確認している。個別対応が必要な児童について報告を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13			時間を決めて、振り返りを毎日実施している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13			毎日記録を残している。
	20	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1		定期的に会議を行っている。
関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	1		サービス担当者会議が開催された際には、担当者が出席している。
	22	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12	1		送迎時に情報交換を行っている。
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	9		医療的ケア児の利用はないが問い合わせには応じる。必要があればカンファレンスに参加する。
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	7		児童発達支援との情報共有は行っている。

機関や保護者との連携	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	9		事例はないが必要があれば情報提供可能である。
	26	移行支援として、学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	5		事例はないが必要があれば情報提供可能である。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	6		十分でないところもあるので改善できるよう検討する。
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	6	地域の公園等、園外に出掛けた場合はある。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	7	2	今後、参加を検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13			連絡帳で活動内容を伝える他、送迎時に口頭で様子を伝えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	7	4	必要に応じて実施している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13			書面、口頭での説明を実施している。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	1		必要に応じて実施している。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6	6	必要に応じて実施している。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13			活動予定を毎月保護者へ配布。また曜日によって翌週の予定を児童に伝えている。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13			
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13			意思疎通の難しい児童には絵カードを使用している。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	5	今後検討していく。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	3		
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	2		防火避難訓練を定期的に行っている。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	11	2		保護者に聞き取りをし対応している。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11	2		個別対応のおやつを提供している。クッキングでは事前に保護者に相談している。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13			全職員が閲覧できるよう専用のファイルを設置。定期的に事例検討会を実施している。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13			職員研修を定期的に行っている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5	8		重要事項説明書に記載し保護者へ説明を行っているが、現時点では事例がない。